

活動日	時間	天候	記録者
2018年11月8日(木)	9:30~12:00	(晴)	(菅田)
2018年11月28日(水)	9:30~12:00	(晴)	

参加者氏名 (9名+6名+11名)	(11月8日) 菅田忠志、塩ノ谷年子、俵貴志子、田路義弘 中西 優、橋野美子、松本治美、水島康夫、山田喜義、
	(体験参加:生環3年生グループ学習メンバー6名) 伊牟田、生駒、戸井、若尾、坂井、増田
	(11月28日) 菅田忠志、黒子兵吾、小林澄夫、塩ノ谷年子、俵貴志子、中西 優、橋野美子、松本治美、水島康夫、山田喜義、米倉 進

今月実施した作業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教材用樹木(タラヨウ、ムキウロジ)の苗木植樹 2. 大径倒木の椅子への転用加工 3. 害虫“カシノナガキクイムシ”対策用材の回収・視認調査 4. 台風被害の中枝搬出とチップ掛け 5. 林縁側溝清掃
------------	---

写真説明

(11月8日)



教材用樹木の苗木植樹作業



教材用樹木(1)
ムクロジ:昔の人たちは石
鹼の木として育ててきた。
木の実をつぶすと石鹼に
なる。



教材用樹木(2)
タラヨウ:葉の裏面に小枝
で傷つけると、黒く跡が残
ることから、「葉に書く」⇒
ハガキの始まりの木。



まだ続く林内の台風被害木の搬出
と、チップ掛け作業。



今回は、頼もしい助っ人(生環3年生、グループ学習“ストップ・ザ・外来植物”チーム)のみなさん6名が体験活動として参加された。

林内散乱木の搬出や、林縁側溝内の落ち葉・腐葉土の掻き出しなど、力仕事に精を出してもらった。お疲れさまでした。グループ学習頑張ってください。

(11月28日)



カシノナガキクイムシ
体長:5mm程度



今年3月に巻きつけた浸食害虫“カシノナガキクイムシ”の防除シートを回収した。



カシノナガキクイムシが樹内にいれば、飛翔のために出てきたところをこの粘着テープで吸着させる仕組み。回収後その個体の視認作業を実施。はっきりカシノナガと思われる個体の確認はできなかった。



林縁側溝内の落ち葉・腐葉土の掻き出し作業。現役学生と違いちょっときつい作業でしたね。残りは男性メンバーに任せましょう。



待っていたササユリの種の採集時期が来た。開花時は良く目立つササユリだが、種が成熟する時期は周囲の枯草に紛れてなかなか見つけにくい。今年は早めにテープで印をくりつけてきた4~5本の熟した果実を採取した。びっしり実った状態の種子となっていたのでこれで十分。残りの90%以上の花はそのまま自然に飛散し、発芽に挑戦するのだろう。がんばれササユリ・野の花たち。

(左)種を納めた状態、(右)先端が3裂し、種が飛散し終わったもの



びっしり詰まっていた三角のひらひらの形をした種

—— 今年も多くの秋の山野草が咲き始めたので撮り歩いた。いくつかを紹介します。 ——



シラヤマギク



ツリガネニンジン



ワレモコウ



リンドウ



ヤマラッキョウ



アキチョウジ？ ちょっと違う気がします。
ヤマハッカに似てるかな…